

平成28年度 市長施政方針

住みたい出雲 住み続けたい出雲の実現

2月22日、出雲市議会定例会が開会し、長岡市長が平成28年度の施政方針を表明しました。その主な内容を紹介します。



I. 所信

新年度は、市長という重責を担ってから2期目の最終年にあたります。

昨年実施された国勢調査では、人口が前回の平成22年と比べ増加しました。県内では、唯一の人口増加を

果たしています。

雇用創出や都市基盤の整備など定住に向けた施策やシティセールス事業などの出雲の魅力発信により、出雲の暮らしの良さが総合的に評価されてきた成果と受けとめています。

昨年は、「出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

事業が本格化する新年度は、官民連携により、出雲の力を結集し、住みたい出雲、住み続けたい出雲の実現に向け、全力を傾けます。

広域連携においては、新年度から、中海・宍道湖・大山圏域市長会の会長に就任し、県境を越えた山陰の中核的な都市圏の一体的な発展をめざし、リーダーシップを発揮します。

II. 行財政改革の推進

集中改革期間の最終年度となる新年度においては、出雲市公共施設の

あり方方針に基づき、地域協議会をはじめ市民の皆様のご理解を得ながら、施設の廃止や民間譲渡等の取組を推進します。

また、既存の事務事業の検証を行い、積極的な見直しを行います。

III. めざす出雲市の将来像

市の総合振興計画「出雲未来図」では、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲」を本市の将来像としています。昨年策定した総合戦略を着実に遂行し、将来像の実現につなげてまいります。

また、出雲未来図の策定から5年目を迎えるため、市民満足度調査を実施し、前期基本計画の進捗状況を検証、分析したうえで平成29年度からの後期基本計画の策定に取り組みます。

IV. 主要施策・主要事業

出雲未来図の将来像の実現に向け、重点的に取り組む4つの戦略プロジェクトに沿って、主要施策・主要事業を説明します。

1. 雇用創出2,000人プロジェクト

本市では、企業の新増設支援など

により出雲未来図策定後、3年余りで1,000人を超える新たな雇用に創出しました。

引き続き、産業振興と多様な就業機会の確保に努めます。

(1) 商工業

本市の特性、ブランド力を生かした、地場産業支援、産学・金融機関との連携促進や創業支援に取り組みます。

○製造業やIT産業の振興

・ 地場企業の高度技術者の育成・確保

・ 異業種交流や商談会など、ビジネスチャンスの提供

○医療・介護分野

・ 産学・金融機関が連携した取組機会の創出

・ 市内企業の新商品や新サービスの開発・提供の促進

○出雲ブランド商品や出雲推奨商品

・ 認定制度や産業情報サイトを活用した販売促進、販路拡大

○商店街の再生・活性化

・ 空き店舗を活用した開業支援

・ 中心商店街などの賑わい創出への取組を支援

○中小企業の事業承継の円滑化や創業の促進

・ 相談体制の強化、創業塾などセミナーの開催

○企業誘致

- ・出雲斐川中央工業団地への早期立地の取組

- ・ソフト産業系業種の誘致

○新エネルギーの推進

- ・民間事業に対する支援

○雇用対策

- ・若者の地元就職やU・Iターンの推進、職場定着の支援

(2) 農林水産業

T P P 協定交渉の合意などにより、農業政策は大きな転換期を迎えています。県やJAなど関係機関と連携しながら、情報収集に努め、国の制度や情勢の変化に機敏に対応します。

○農業3F事業・ひかわ元気農業支援事業

- ・意欲ある農業者への各種支援

○新出雲農業チャレンジ事業

- ・情報通信技術を活用した農業などのモデル的な取組を支援

○土地利用型農業

- ・経営の多角化、つや姫の生産拡大
- ・集落営農組織の法人化、担い手不足地域での組織化支援

○特産の振興

- ・ぶどう、柿、いちじくなどの販売促進と後継者の確保

○畜産業の振興

- ・畜産クラスター協議会の取組を支援

援

○新規就農者対策

- ・就農初期の負担軽減
- ・アグリビジネススクールを活用した担い手の育成

○農業基盤整備

- ・宍道湖西岸地域における国営農地整備事業の推進

○林業の振興・森林の適正管理

- ・「出雲の森しごとチャレンジ支援事業」による林業事業体の育成、雇用促進

- ・保安林などの松枯れ対策

- ・林業3F事業など、市民も参加できる森づくりの支援

○鳥獣被害対策

- ・捕獲および防護ネットや電気柵等の設置助成

○水産業の振興

- ・漁業者グループによる後継者対策
- ・小伊津アマダイやヤマトシジミなどのブランド力の向上

○「出雲の海魅力発信事業」による啓発

- ・「出雲の海魅力発信事業」による啓発



2. 定住人口キープ17万人プロジェクト

クト

本市に住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりを進めます。

○定住促進

- ・就職情報や出雲の暮らし情報を効果的な手法で発信

○未婚化・晩婚化対策

- ・婚活支援員の配置、結婚支援の強化

- ・島根はつぴいこーでいねーたーとの連携強化

○縁結びをキーワードにしたシティセールス

- ・ご縁ポストやご縁結び処の活用
- ・漫画による出雲暮らしの紹介

- ・映画「たたら侍」の出演者と連携した情報発信

○ふるさと応援寄付

- ・寄付額に応じた特産品や旅行商品の強化・拡充

○コミュニティ活動の推進

- ・コミュニティセンターリフレッシュ事業による長寿命化
- ・高松コミュニティセンターの実施設計に着手

○自治会への加入促進の支援

- ・地域コーディネーターや地域おこし協力隊を配置し、コミュニティビジネスなどの取組を強化

- ・過疎地域支援専門員を中心に集落

- ・過疎地域支援専門員を中心に集落

- ・過疎地域支援専門員を中心に集落

- ・過疎地域支援専門員を中心に集落

- ・過疎地域支援専門員を中心に集落

- ・過疎地域支援専門員を中心に集落

- ・過疎地域支援専門員を中心に集落

応援隊と連携し、持続可能な地域づくりを支援

○生涯活躍のまち「日本版CCRC」

- ・民間と連携し、元気な高齢者の移住促進を検討

○多文化共生の推進

- ・外国人住民への行政サービスの提供や生活面でのコミュニケーション支援の強化を図る多文化共生推進プランの策定

- ・外国人住民への行政サービスの提供や生活面でのコミュニケーション支援の強化を図る多文化共生推進プランの策定



3. 交流人口1,000万人プロジェクト

ジエクト

本市の豊かな歴史・文化・自然資源を最大限に生かした施策に取り組みます。

本市の豊かな歴史・文化・自然資源を最大限に生かした施策に取り組みます。